

映画祭史上最多663作品から選出！SNSショートドラマ『AIDOL課長』が、SSFF & ASIA 2026「サイバーエージェント縦型アワード」を受賞

SNS社会の“承認欲求”をえぐる縦型コメディ『AIDOL課長』が米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭で快挙



株式会社キュービック（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：世一 英仁、以下「キュービック」）は、映画監督・脚本家のChavo氏とキュービック所属のプロデューサー・内田真之介が手がけたSNSショートドラマ『AIDOL課長』が、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）2026」における「サイバーエージェント縦型アワード（CyberAgent Vertical Award）」を受賞したことをお知らせいたします。本アワードは、新たな映像体験の主流となりつつある縦型動画に特化し、ショートドラマやSNS動画などにおいて、高い効果・表現力を発揮した優れた作品・団体・プロジェクトを表彰するものです。第2回となる今回は、映画祭創設以来、縦型作品としては過去最多となる663作品の応募がありました。本作は、縦型動画ならではの効果や表現力を発揮し、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性などの点が審査において高く評価され、この度の受賞に至りました。

■受賞作品『AIDOL課長』について



本作は、AI加工や配信文化が日常化した現代における「本当の自分」と「見せたい自分」の境界を、コメディとして描いた作品です。

冴えない中年課長が、女装とAI加工を活用してアイドル配信者として承認を得ていく姿を描写。職場や家庭で評価されにくい人間の孤独と承認欲求を描き出しました。

スマートフォンの縦型映像ならではの「近さ」を活かし、配信画面の親密さと不気味さ、そして仮想人格に救われながら壊れていく現代人の姿をリアルに表現しました。

出演：寺田剛史、井上乃ノ楓、柳田光優、雅葉緑、マサリーノ・ポンスキー、文目卓弥、佐藤恵美香

アシスタント：田口菜

ヘアメイク：李泉美

撮影協力：寶結株式会社、COMPASS小倉、AIMビル

監督・脚本・撮影・照明・色調整・録音・整音・編集：Chavo

企画：内田真之介、Chavo

プロデューサー：内田真之介

SNSディレクター：中井美希

運営：株式会社キュービック 『AIDOL課長』製作委員会

作品公式SNS：

【Instagram】 <https://www.instagram.com/aidolkacho/>

【YouTube】 https://youtube.com/channel/UClzEq5EL1wj9irRiUFsVpjw?si=4jCQVF_aLpfeUggu

【TikTok】 https://www.tiktok.com/@aidolkacho?is_from_webapp=1&sender_device=pc

■プロデューサー・内田真之介のコメント

多数の応募作品がある中で最後まで残るのは厳しいと考えていたため、発表された時は本当に嬉しかったです。『AIDOL課長』の主人公は、職場でも家庭でもなかなか認めてもらえない冴えない中年課長。彼が女装とAI加工で「もう一人の自分」を作り、配信の世界で承認を得ていく。笑えるのに、どこか胸

が痛い。実はこれ、僕自身も含めて多くの人を感じている「認められたい」というリアルな感情なんです。縦型のスマートフォン画面で配信を覗き見るような没入感は、この作品でしかできない体験だと思います。今後もキュービックならではのインサイト起点で、観る人の心に響くコンテンツを作り続けていきます。

■キュービックのソーシャルメディアマーケティング事業について

キュービックでは、徹底したユーザーインサイト調査を起点に、企業のマーケティング課題の解決やアカウント運用をトータルでサポートするソーシャルメディアマーケティング事業を展開しています。今回のノミネートにより、私たちが培ってきた「視聴者の深層心理を捉え、心を動かす縦型動画クリエイティブ」の実用性が、国際的な舞台においても実証される形となりました。

【主なクリエイティブ実績】

- 『部下でございます。』（Instagram：<https://www.instagram.com/bukagoza/>）
「転職」をテーマにしたSNSショートドラマ。Z世代を中心とした新たな価値観を持つ若手社員に翻弄される、中間管理職の悲哀を描いています。
- 『ハタジョ』（Instagram：https://www.instagram.com/hatajo_gol/）
街頭インタビューを通じて働く女性のリアルな本音に迫るチャンネル。仕事も私生活も充実させるためのヒントを発信しています。

今後も、マーケティングノウハウと最先端の縦型動画クリエイティブを融合させ、企業様のビジネスの前進に貢献してまいります。

事業に関するお問い合わせはこちら▶ <https://cuebic.co.jp/business/socialmedia/>

■SSFF & ASIA 「サイバーエージェント縦型アワード」について

新たな映像体験の主流となりつつある縦型動画に特化し、ショートドラマやSNS動画などにおいて、高い効果・表現力を発揮した優れた作品・団体・プロジェクトを表彰するものです。本アワードの新設を通して、「SSFF & ASIA」を“縦型コンテンツの震源地”と位置付け、縦型動画におけるクリエイティブのさらなる発展と、クリエイターの発掘、活躍機会の拡大に貢献することを目指しています。特に、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有する国内作品・団体・プロジェクトを対象としています。

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジアについて

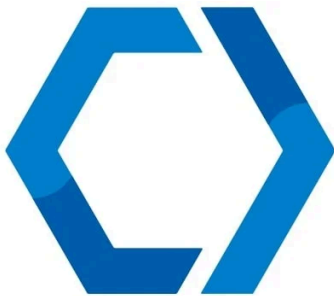


米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優の別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから、1999年に創立しました。2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定され、同年、アジア発の新しい映像

文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的に「ショートショートフィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生。現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催し、若きクリエイターを応援しています。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

■キュービックについて



CUEBic

キュービックは「インサイトに挑み、ヒトにたしかな前進を。」をミッションに掲げ、ヒト起点のマーケティング×デザインでビジネスを前進させる会社です。比較サイトを中心としたデジタルメディア事業を行っており、心ときめくお買い物メディア『[your SELEC T.](#)』や、転職活動や新しいキャリアの選択を支援するサービス『[ミライトーチ](#)』を運営しています。フィールドワークを重視し、表面的なニーズではなくインサイト（深層心理）を的確に捉え、人々をよりスムーズな課題解決体験へと導いています。

会社名 : 株式会社キュービック

所在地 : 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー16階

代表者名 : 代表取締役 世一 英仁

設立 : 2006年10月

URL : <https://cubic.co.jp/>

■本件のお問い合わせ先

株式会社キュービック PRチーム : 阿南

E-mail : cubic-pr@cubic.co.jp

Tel : 03-6908-9765

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000217.000012817.html>

株式会社キュービックのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/12817